

分担金・拠出金の名称	国際連合地域開発センター（UNCRD）拠出金	評価	A
拠出先の国際機関名	国際連合地域開発センター（UNCRD）		
国際機関の概要	・1965年、地域開発のための機関の設立の必要性を指摘した国連経済社会理事会決議の採択を受け、1968年～3年間、日本と国連の共同事業として名古屋市で地域開発に関する研修事業が実施された。この事業の実績を踏まえ、日本と国連との間で締結された協定（1971年6月）に基づき、1971年10月、名古屋市に設立。 ・開発途上国における地域開発の能力向上を目的に、途上国の行政官を対象とした地域開発に関する研修、及び地域開発をめぐる諸問題をテーマに調査研究や助言等を実施。 ・中部圏に本部を有する唯一の国連機関として、中部圏と国際社会をつなぐ役割を果たす。		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標		達成状況	
1（1）成果目標：我が国重要外交課題の一つである地域開発の遂行におけるパートナーシップの強化 活動指標：UNCRDの活動を通じた我が国重要外交施策への貢献、UNCRDと我が国のハイレベル協議の実施、我が国地方自治体や民間セクターとの連携		・UNCRDは、ミレニアム開発目標（MDGs）に掲げられており、ポスト2015年開発アジェンダでも重要な分野となる環境の持続可能性の確保の達成、統合的地域・都市開発計画立案促進、人間の安全保障の推進に向けて、その専門的知見を活かして活動を展開。 ・とりわけ、日本が推進する政策である「環境的に持続可能な交通（EST:EnvironmentallySustainableTransport）」と「3R（リデュース、リユース、リサイクル）」を推進し、アジアにおけるESTや3Rの国家戦略プランの策定やその実施を積極的に支援している。 ・我が国地方自治体との連携も顕著。「都市作りの将来に関する国際会議」（2013年10月、北九州市）においては北九州市やOECDと「首長フォーラム～躍動するアジア都市のグリーン成長」と題したフォーラムを開催。また、本年1月には豊田市で「持続可能な都市に関するハイレベルシンポジウム」を同市と共催。 ・3Rフォーラムでは、民間の展示コーナーを設け、日本企業の取り組みを紹介。また、日本のNGOも積極参加している。 ・TICADVではケニア、ガーナ、エチオピアからのパネリストを迎えサイドイベントを催し、UNCRDの活動を紹介するとともに、アフリカ研修コースなどを通して今後もアフリカの発展を支援することを表明した。 ・名古屋での研修では、名古屋市、愛知県を始め近隣の地方自治体や民間企業と連携し、良い政策や取組みなどの紹介や情報発信に努めている。	
（2）成果目標：機関の意思決定における我が国のプレゼンスの強化を通じ、地域開発に係る議論に我が国意向を反映 活動指標：UNCRDの活動意思決定機関における常任の地位の確保。		我が国はUNCRD顧問委員会やその他不定期の協議に出席しつつ、UNCRDの政策立案や活動実施面について積極的な参画を確保してきている。昨年7月の国連本部でのハイレベル政治フォーラムでは、UNCRDと国連経済社会局が共催でサイドイベント「持続可能な都市開発のための資源効率の推進」を開催。三ツ矢外務副大臣（当時）が出席し、持続可能な都市開発における防災の重要性等に触れつつ我が国取組をアピール。	
（3）成果目標：効率的な組織・財政マネジメントの実現 活動指標：具体的な組織運営改善措置の導入		UNCRDは、業務内容の再編、神戸事務所の名古屋本部への統合（2010年）、職員数の大幅削減・出張旅費の削減（ディスカウント・エコノミー利用の奨励）等を通じて経費節減や運営の効率化に努めている。現在、事務所経費の更なる節減の可能性につき検討中の他、国内における知名度の向上を目的として広報活動の取組みを強化している。海外事務所に関しては独立採算としたが、過去の業績の評価と地域の経済状況によりラミではこれが実現している。	
（4）成果目標：我が国人材の知見、専門性を通じた地域開発の促進への貢献 活動指標：邦人職員の増強。		初代所長をのぞき、歴代日本人が所長を務め現在に至る。現所長は高瀬千賀子氏（2012年2月より）。	
2. PDCAサイクルの確保		UNCRDにおいては、以下の通りPDCAを確保。 ①Plan:我が国の外交政策優先事項等を踏まえ、予算要求。②Do:我が国の拠出金支払。UNCRDによる予算案執行。名古屋の本部との日常的な協議を通じて、UNCRDの運営・活動のモニタリング。③Check:年次報告書や、内部・外部監査報告書に基づき、運営活動の成果を評価。④Act:UNCRD顧問委員会や日常的な本部との連絡の機会を通じて運営における要改善事項を申し入れ。	
担当課・室名	国際協力局 地球規模課題総括課		